小型血糖測定機

グルテストエースR

採血用穿刺補助器具

エースレット

ディスポーザブル採血針 SKKブラッドランセット30G

操作方法

正しい血糖測定をするために。

※詳しくは各製品の取扱説明書をご覧ください。

製品のお問い合わせは　365日24時間お受けいたします。

フリーダイヤル 0120-078130

株式会社 三和化学研究所

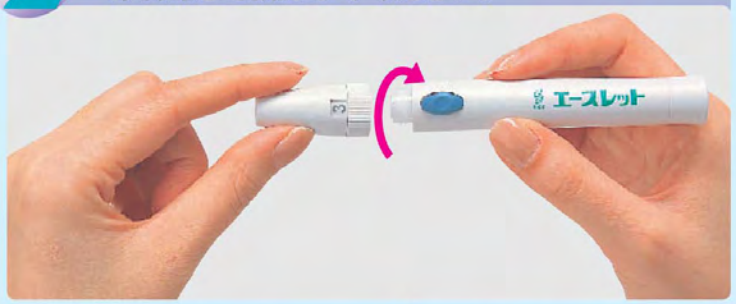
警告 エースレットを他の人と共用すると、付着した血液を介して微生物などによる感染のおそれがありますので、絶対に共用しないでください。

血糖測定に必要なものをそろえてください。

1

採血の準備をしましょう。

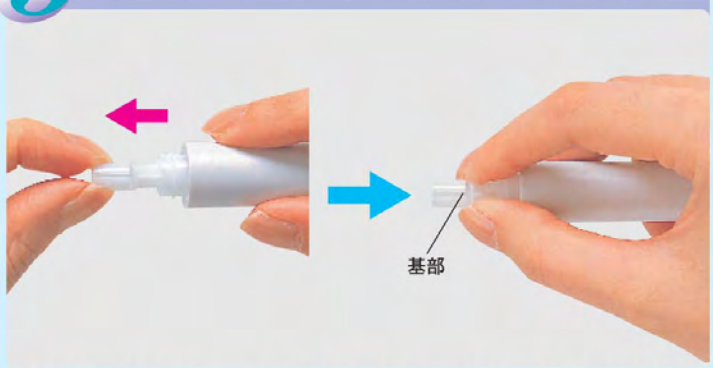
2 キャップをはずし、「深さ調節ダイヤル」を回して穿刺深さを調節してください。



穿刺深さ	表示設定
より浅く穿刺します	1−2
標準的な深さ	3−4
より深く穿刺します	5−6

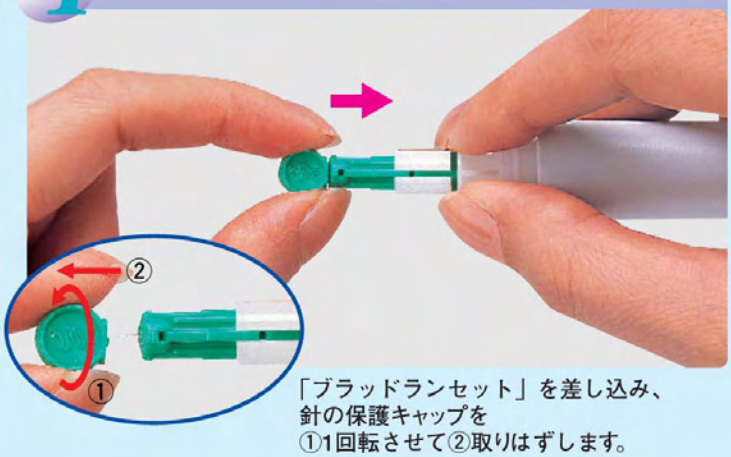
エースレットのキャップを回して取りはずしてください。
ギザギザの付いた「深さ調節ダイヤル」を回して適当な穿刺深さに調節します。

3 ホルダーを引き出し、基部を手で持ちます。



ホルダーを引き出し、ホルダーが戻らないように基部を手で持ち支えます。

4 新しい採血針をセットしてください。



「ブラッドランセット」を差し込み、
針の保護キャップを
①1回転させて②取りはずします。

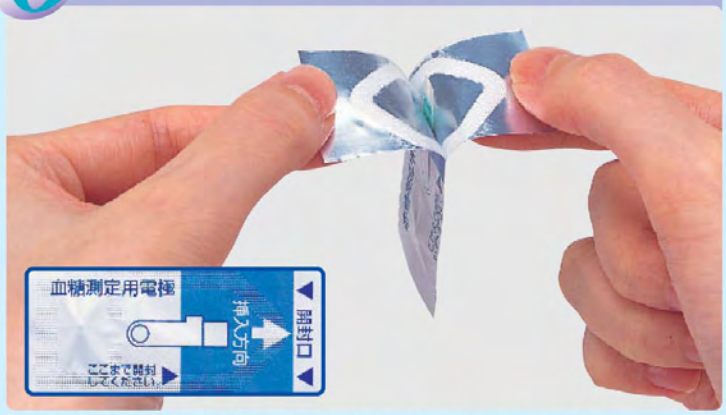
警告 採血針の繰り返しての使用は、感染のおそれがありますので絶対にしないでください。

血糖測定の準備をしましょう。

5 キャップを元どおりにセットし、引っ張ります。つまみは自然に元の位置にもどります。

エースレットのキャップを元どおりにセットします。つまみの部分を持ってカチッと音がするまで引っ張ります。カチッと音がしたら引き金がセットされ、つまみは自然に元の位置にもどります。

6 グルテストセンサーを開封してください。



グルテストセンサーのアルミパックを指定の所まで開けます。

ご注意 空のアルミパックは使用したグルテストセンサーを処理するときに使用します。捨てないでください。

7 グルテストセンサーを挿入してください。

グルテストセンサーを乾いたきれいな手でつまみ、グルテストエースRに挿入します。

ご注意 グルテストセンサーを濡れた手で触らないようにしてください。
グルテストセンサーは、グルテストエースRに奥までしっかりと挿入してください。

8 自動的に電源が入ります。

「Ｆ－５」が点滅表示されていることを確認します。
(既に測定を行っている場合には、「Ｆ－５」と前回の測定値が交互に表示されます。)

採血をしましょう。

9 消毒をしてください

消毒綿で穿刺する部分を消毒し、乾燥させます。

警告 感染のおそれがありますので必ず消毒してください。

10 指先にあててボタンを押し、血液滴を得ます。

エースレットを採血部位に確実に当て、青色の穿刺ボタンを押し、測定に必要な血液滴を得ます。

血糖を測定しましょう。

11 「F－5」が点滅表示されていることを確認します。

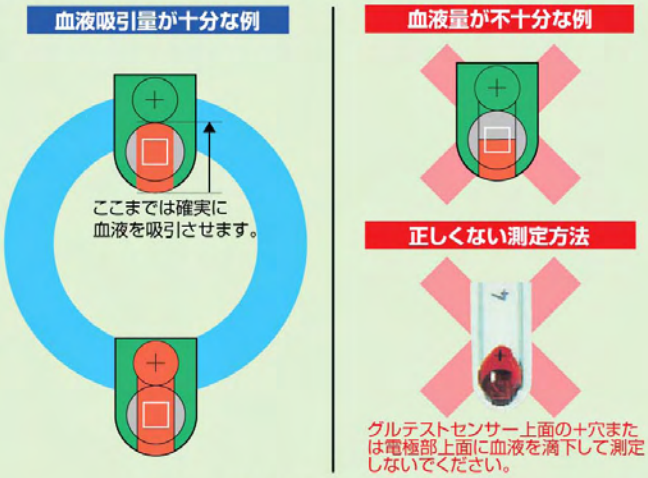
「F－5」が表示されていれば血糖の測定ができます。(グルテストセンサーを挿入して3分過ぎると点滅表示が終了し、その状態では測定できません。一度グルテストセンサーを抜き取り、再度挿入してください。)

12 自動的に測定を開始します。

血液をグルテストセンサーの先端部に触れさせます。
血液は自動的に吸引され測定を開始します。
グルテストエースRはカウントダウンを行います。

ご注意 ブザー音が鳴るまで、グルテストセンサーは採血部位から離さないで下さい。また、血液量が少なすぎるとブザー音が鳴っても正確な測定値が得られません。

吸引させた量が少ないと、ブザー音が鳴っても正確な測定結果が得られず、異常低値を示します。



グルテストセンサー先端部模式図

13 血糖値が表示されます。

15秒後、血糖値が表示されます。
測定値はグルテストエースRに記憶されます。

ご注意 血糖値が20mg/dLを下回った場合はLoと、600mg/dLを超す場合はHiと表示されます。
測定値は糖尿病手帳等に記録して下さい。

14 測定後の処理

測定が終わったらグルテストセンサーを残しておいた空のアルミパックでつまみ、グルテストエースRから抜き取ります。グルテストエースRの電源が自動的に切れます。

ご注意 使用したグルテストセンサーは再使用出来ません。

15 使用済採血針を保護キャップに刺して捨てます。

血糖の測定が済みましたら、採血部位をばんそうこうなどで止血します。
使用済みの採血針は、保護キャップの凹部に突き刺して捨てます。

警告 感染のおそれがありますので必ずばんそうこうなどで止血をしてください。傷口が治りにくいときは、こまめに消毒してください。

「H17.8改訂」GLA-89 83508LT0805